

指導案形式について

- ① 上下左右の空きは20mm以上あける。
- ② 文字サイズは基本は10.5ポイント。
- ③ フォントは見出しはMSゴシック(太字)、本文はMS明朝体を使用。
- ④ 数字は1ケタは全角、2ケタ以上は半角。例：5，77
(1)(2)…は()も数字も半角。
- ⑤ 以下の□は全角スペース、□は半角スペース、●は文字を示す。
- ⑥ ABなどの英字も全角で。
- ⑦ 「5 指導と評価の計画」のみ文字サイズを変更し、9ポイント。
フォントはMSゴシックで。

センタリングをする

第●学年●組□技術・家庭科(○○分野)学習指導案

< 1行あける >

< 1行あける >

1 □ 題 □ 材 □ □ □ ● ● ● ● ●

< 1行あける >

2 □ 目 □ 標

□(1) □ ● しようとしてしている。

(生活や技術への関心・意欲・態度)

□(2) □ ●
について考察し、その結果を適切に表現することができる。

(生活を工夫し創造する能力)

□(3) □ ● 資料を活用することができる。

(生活の技能)

□(4) □ ● 理解することができる。

(生活や技術についての知識・理解)

3 □ 指導にあたって → 一貫性があるように記述

評価の観点を省略せずそのまま記述。

□(1) □ 題 材 観

□ □ □ ● ● ● ● ● ~ ということをねらいとしている。

「題材観」「生徒観」「指導観」の順に、
3つの段落で記述。

□ □ ● ●

□(2) □ 生 徒 観

□ □ □ 本学級の生徒は、

□ □ ● ● ● ● ●

※家庭分野のみ、小学校の学習内容との
つながりについて必ず記述する。

□(3) □ 指 導 観

□ □ □ 本題材では、

□ □ ● ● ~を踏まえ、~を通して、~ができるように指導する。

※「題材観」では、これまで学習してきたこと(内容)や育ててきたこと(思考力や表現力、考え方、態度等)を記述しながら、ここでの主なねらいを記述する。例えば「これまでこのような内容や表現力や考え方、態度などを学習してきている。ここでは、このような学習を通して、このような力(表現する力等)を育てることが主なねらいである。」と記述する。

※「生徒観」は、調査結果を含んだ実態を、できるだけ数値化して記述する。また「~ができない」といった否定的な記述は避ける。例えば、「~な指導(支援)を通して、ここまでできるようになってきている。このようなことができるように指導する。」というように、生徒の実態を肯定的にとらえ、プラス面を強調して記述する。

(男子10名□女子10名□計20名□12月3日実施)

- ・実態調査は、**題材のねらいや実態をふまえた内容で(好き、嫌いではなく)**
- ・表(数値)等にして分かりやすく。**数字は1ケタは全角、2ケタは半角・半角**
数値は多い順から記入。人数は○名

※「指導観」では、「教材観」、「生徒の実態」の内容を踏まえ、指導者としての願いや思いなどを含みながら、育てたいことや指導したいことを具体的な手だて(学習形態、教材や資料等を通して)を記述する。例えば、「(ここまでできてはいる。)そこで、このような具体的な手立てを使って、生徒の力をこのように伸ばす。そのために、このように指導する。」というように記述する。

4 □ 研究テーマとの関わり

第○分科会テーマ
 ●●●.....●●●の在り方

- 第○分科会では、 ●●●
-
-
-
-

県のテーマを受け、各分科会でこれまで行ってきた研究の経緯や、各分科会ごとの地区の実態等を記述。
 ここでは、必ず文章中に、「目指す生徒像」を記述。
 (5～6行程度にまとめる)

5 □ 指導と評価の計画 (●時間扱い)

時間	○ねらい ・学習活動	評価規準・評価方法			
		生活や技術への 関心・意欲・態度	生活を工夫し 創造する能力	生活の技能	生活や技術に ついての 知識・理解
1	○幼い頃を振り返り、周囲の人との関わりに気付くことができる。 ・自分の幼い頃を振り返り、自分が好きだった遊びや、幼い頃のエピソードなど、調べてきたことから分かったことをまとめる。	①幼い頃の自分について、家族や周りの人に支えられていたことに気付いている。 ・ワークシート			
2 3	○幼稚園(保育園)を訪問し、幼児を観察したり遊んだりしながら、幼児と積極的に関わろうとすることができる。 ＜幼児との触れ合い体験 第1回目＞ ・幼児との触れ合い体験を通して、心身の発達や遊びなど、様々な課題をもって幼児と触れ合う。	②幼児と触れ合う活動を通して、幼児に関心を持ち、積極的に関わろうとしている。 ・行動観察 ・自己評価	①幼児との関わり方について、自分なりに工夫したり、観察したことを生かして考えたりしている。 ・行動観察 ・幼児の観察メモ		
7 (本時)	○幼児の生活習慣の習得を支える家族や周囲の大人の役割について理解することができる。 ・ロールプレイングを通して、幼児への接し方を理解し、生活習慣の習得を支える家族や周囲の大人の役割を考える。				②基本的な信頼関係や生活習慣の形成の重要性とそれを支える家族や周囲の大人の役割について理解している。 ・ワークシート ・ペーパーテスト
8	○幼児にとっての遊びの意義について理解することができる。 ・幼児の遊びを体験したり、簡単な遊び道具の製作を通して、遊びの意義について考える。				③幼児にとっての遊びの意義について理解している。 ・ワークシート ・ペーパーテスト
9 10 11	○幼稚園(保育園)を訪問し、学んだことを生かして幼児に合った接し方や遊びを工夫することができる。 ＜幼児との触れ合い体験 第2回目＞ ・第1回目の触れ合い体験を生かして、生徒一人一人が課題を設定し、幼児や幼児を取り巻く環境を観察する。 ・幼児に合った接し方や遊びを工夫し、積極的に触れ合う方法を考える。		②幼児の心身の発達に応じたかかわり方について、学んだことを生かして、接し方や遊びを工夫している。 ・行動観察 ・幼児の観察メモ	②幼児の遊びや幼児の発達と家族とのかかわりなどについて、観点に基づいて観察し整理している。 ・ワークシート	
12	○幼児との触れ合い体験の実践の成果と課題について話し合ったことを、キッズジャーナルにまとめることができる。 ・1回目と2回目の幼児との触れ合い体験の写真や動画から気が付いたことを話し合い、観点別にキッズジャーナルにまとめる。		③幼児との触れ合い体験の実践の成果と課題についてまとめたり、発表したりしている。 ・キッズジャーナル ・授業中の発表		④幼児との触れ合い体験を通して、幼児の心身の発達や生活時間などの特徴などについて理解している。 ・キッズジャーナル ・ペーパーテスト

6 □ 本時の指導

□ (1) □ 目 □ 標 (目標は1つ, 指導計画に合わせて)

□ □ □ ● ● ● することができる。(目に見える姿)

□ (2) □ 準備・資料

□ □ □ ● ● ●, ● ● ●, ● ● ● (具体物を書く)

本時の授業で目指す能力や態度を具体的に記述。

□ (3) □ 展 □ 開

学習活動および内容	指導・援助の留意点と評価
<p>1 □ 本時の学習課題を捉える。</p>	<p>● ● ● ●</p> <p>・は1マス空けずにそのまま書き出す。</p>
<p>生徒の立場で学習課題を記述。(例)「～(し)よう。」「～なのだろうか。」などの語尾が原則</p>	
<p>2 □ ● ● ● □ (1) □ ● ● ● □ □ ● ● ● □ □ ● ● ● □ (2) □ ● ● ● □ □ を発表する。</p>	<p>● ● ● ●</p> <p>本時の課題を学習する必要感をもたせたり, 課題への興味・関心を高めたりして, 本時の学習に対する追究意欲を高めるための手だてを記述する。</p> <p>手立てはできるだけ具体的な教師の行動を書く。どの教科・授業でも使えるような手立ては少なくする。</p> <p>↓ 次の2点については必ず記述する。</p> <p>「努力を要する」状況と判断した生徒への具体的かつ有効な手だてを記述。</p> <p>上位をいかに伸ばし、下位をいかに引き上げるか</p> <p>「おおむね」満足できる状況と判断できる状況の生徒に対し, 学習の深まり広がりを目指した具体的かつ有効な手だてを記述。</p> <p>● ● ● ● □ ● ● ● ように助言する。</p> <p>指導計画の評価規準(「おおむね」満足できる状況)を記述。指導計画と同じ評価規準を記述。</p>
<p>3 □ ● ● ● □ (1) □ ● ● ● ● ● ● ● ●</p> <p>活動の柱だけでなく, 内容を記述。「話し合う」...どのようなことを, どんな順序で話し合うのかを具体的な生徒の姿で記述。</p>	<p>□ (2) □ ● ● ● ● ● ● ● ●</p>
<p>4 □ メモをもとに.....</p>	<p>□ (2) □ ● ● ● ● ● ● ● ●</p> <p>↓ みる姿 している。 (知・理: ワークシート)</p>
<p>5 □ 本時の学習を振り返る。 □ (1) □ 本時の学習を振り返り, 自己評価をする。 □ (2) □ 次時の学習課題をつかむ。</p>	

